

利根町教育委員会定例会会議録

平成 29 年 1 月 25 日 午後 4 時 05 分開会

1. 出席委員

教 育 長	杉 山 英 彦 君
教育長職務代理者	武 谷 昭 子 君
委 員	木 村 矩 男 君
委 員	佐 藤 忠 信 君
委 員	村 上 盛 一 君

1. 欠席委員

な し

1. 出席事務局職員

学校教育課長	寺 田 寛 君
生涯学習課長	坂 田 重 雄 君
指導室長	直 井 由 貴 君
学校教育課長補佐	大 越 克 典 君
学校教育課長補佐	花 嶋 み ゆ き 君

1. 議 事 日 程

議 事 日 程

平成 29 年 1 月 25 日 (水曜日)
午後 4 時 05 分開会

日程第 1 その他

- (1) 小中学校の卒業式・入学式について

1. 本日の会議に付した事件

日程第1 その他

(1) 小中学校の卒業式・入学式について

午後4時05分開会

○教育長（杉山英彦君） おはようございます。大変お忙しい中、お集まりをいただきましてありがとうございます。

ただいまより平成29年1月の教育委員会定例会を開催いたします。

それでは、まず初めに、私の方からの報告がございます。

去年12月の利根町議会定例会におきまして、武谷委員さんが利根町教育委員会の委員として、議会の同意を得ました。今年の1月5日に教育委員会委員の任命書が1月1日付で町長より交付されました。そして、私の方からは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項に基づき、教育長があらかじめ職務代理者を指名するものとされておりますので、武谷委員を教育長職務代理者として指名させていただきましたので、これをご報告したいと思います。

それでは、定例会の日程に入らせていただきたいと思います。本日のご審議いただく議案はございませんでしたので、日程第1 その他から始めたいと思います。

○教育長（杉山英彦君） それでは、日程第1 その他 (1) 小中学校の卒業式・入学式についてを、事務局の方より説明していただきます。お願いします。

○学校教育課長（寺田 寛君） それでは、その他の(1)としまして、小中学校の卒業式・入学式についてご説明いたします。

教育委員の皆様には、毎年、町内の小中学校の卒業式と入学式にそれぞれ出席をいただいているところです。今年の卒業式は、中学校が3月10日（金）、それから小学校が3月17日（金）、入学式につきましては、4月7日（金）の午前が小学校、午後が中学校となっております。割り振りにつきましては、手元にお配りしてあります別紙のとおりとなっておりますので、ご確認をいただきたいと思います。

そのほかの出席者、それから当日の開始時刻等につきましては、現在調整中ですので、参考までに案としましてお配りいたしますのでご了承いただきたいと思います。

また、小学校の卒業式では、各小学校におきまして出席委員から祝辞を述べていただきますので、よろしくお願ひしたいと思います。委員がお二人出席の学校につきましては、委員さんのどちらかが代表で祝辞をお願ひしたいと思います。以上です。

○教育長（杉山英彦君） 3月のことなんですけれども、もう大体予定が出てきていますので、それぞれの教育委員さんに各小学校・中学校、中学校は全員、委員さん方、私を含め

て全部参加させていただくわけなんです、小学校は、町当局、それから議会、教育委員会というふうに三つに分かれて、それぞれ分担で三つの小学校に行っていただくということで、今年度、私を含めて5人ですので、2, 2, 1というような形になるので、ローテーションを組んで、毎年別の学校に出席していただこうと思っております。

昔は議員さんと同じように地区ごとに教育委員さんも選出されていたので、その地区のところに出席する。というのがあったんですけども、今は三つの小学校、どこを回っていただいてもいいかなと思いますので、こちらの方で割り振り案といいますか、作らせていただきました。

あと、ご挨拶の方もお願いしたいということなので、お二人行かれる方で、お名前に丸をつけさせてもらいましたけれども、どうしてもという場合にはご協議いただいてご挨拶をいただければと思います。あくまで卒業式だけで、入学式は1年生が入ってくるので長時間というわけにいかない、以前は、町、議会、教育委員会、PTA会長というふうに4人が挨拶していたんですが、入学式は教育委員会では参加すればいいだろうということにして。

ですから、町と議会とPTA会長という3人で挨拶をいただくというような形ですので、各委員さん方で挨拶をしていただくというのは、卒業式の方でということで、この予定でよろしいでしょうか。ご意見ありましたら出していただければと思います。

当日、都合がつかない事もあるかなと思いますけれども、あくまできょうの段階では予定ということでご了承いただければと思います。

よろしいですか。

○委員（佐藤忠信君） 入学式ですが、私は、高校のPTA会長をしまして、多分午前中が重なるかと思えます。午後の中学校の方には出席できますが。文間小学校の方は、出席出来ないかなと。

○教育長（杉山英彦君） その時には私が行きます。

○委員（佐藤忠信君） 前もローテーション組んで、出られたこともあるんです。僕は文間小学校で祝辞を読んだこともありまして。いろいろな小学校を見られていいと思います。

○教育長（杉山英彦君） 固定しないで、いろいろな小学校に行っていただいて、ここの学校はこうだったよとご意見をいただいたほうがいいかなと思いますので。

あと、今の段階でどうしても3月17日と4月7日、3月10日は都合がつかないという方はいらっしゃいますか。

まだ、3月で、あと2カ月ぐらいあるので、何かありましたら、また、行事とかが入って変更の場合には、事務局のほうに連絡いただければと思います。

じゃ、この件についてよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○教育長（杉山英彦君） はい。じゃ、よろしく願いいたします。

次に、その他、ありましたらお願いします。

○学校教育課長（寺田 寛君） では、学校教育課のほうからちょっと報告といいますか、お話をさせていただきたいと思います。

先日、小中学校の保護者の皆様に夏休み短縮施行についてのアンケートの協力をお願いをいたしました。手元に資料をお配りしてありますが。

小学校、中学校別々に保護者宛てに出したものでございまして、依頼文の方につきましては同様なんですけれども、裏面を見ていただきますと、夏休みに関するアンケートということで、昨年夏に試行的に3日間、夏休みの短縮を実施いたしました。これは、授業時間の確保とか、あるいは学力向上とかという趣旨で、どうしても、例えばインフルエンザが発生して学級閉鎖になって授業数が減ってしまうとか、台風により休校になってとか、もろもろの関係で授業時間の確保とか学力向上という意味で、昨年、委員さんの了解を得まして短縮を試行したわけなんですけれども、今後、来年度に向けてその試行した結果を保護者の皆様にご意見を伺いまして、どういうふうに思っているのか聞いた上で、来年度どうするかを考えていきたいということで、参考にするためにアンケートをお願いしたものでございます。

設問1のほうで、中学校には無いんですが、小学校保護者に対しましては、小学校1年生から3年生、4年生から6年生で、お子様のいる家庭の状況の質問をしております。傾向として、低学年、高学年でどういう傾向があるのかなということで、ちょっとお子さんの状況を聞きました。

2番目で、昨年試行的に3日間短縮しましたけれども、これに対する感想をお聞かせくださいということで、「とてもよかった」、「よかった」、「あまりよくなかった」、「よくなかった」の4段階で聞いております。

また、その理由としまして、もし具体的な理由があれば記入してくださいということで依頼をしております。そして、最後にその他で、また、ご意見があればということで項目を設けました。

中学生につきましては、中学校を一体に調査しますので、学年は聞いておりません。

これは小中学校両方にアンケートを出しているんですが、じゃ、小学生・中学生両方に居る方は、どうするのかということで、これにつきましては、小学校と中学校の両方にいる方は、小学校のほうは、小学校の子どもの親の立場で書いていただいて、中学生もいる方は両方、その中学生のいる親の立場として書いていただいてもいいのかなということで、小中学校両方いる方は両方出してもらうという形をとりました。

そういう形で、1月27日までにお子さんを通じて担任に上げていただくということで依頼しておりますので、ここの結果がまとまりましたら、また内部で検討しまして、来年度、夏休みをどうするかというのを検討した上で、また委員さんの方でいろいろご検討、ご協議をお願いしたいというふうに思っておりますので、報告でございます。

それから、これにあわせてまして、アンケートと一緒に利根町では、「まち・ひと・しごと総合戦略」というのを策定しておりますので、この中で、基本目標2の中で、学力と心を

育む利根プロジェクトという目標がありまして、その中で、要するにその達成状況がどうかという目標値を設定しておりまして、三つほど掲げているんですけれども、不登校児童生徒の割合を減らしましょうということを目標に掲げています。これは内部で調査すればわかるんですけれども、2番目に、授業がわかりやすいと思う児童生徒の割合を把握するという数値目標がありまして、これは、小中学生へのアンケートにより把握するということになっておりまして、それから、子どもの通っている学校に満足している保護者の割合についても、これは保護者へのアンケートで、目標が達成されているかどうかというのを計るための数値を設定しております。

この後半の二つの部分、授業がわかりやすいと思う児童生徒の割合についてどうですかというアンケートと、それから、子どもの通っている学校に満足している保護者の方のアンケートという、二つのアンケートも今の夏休み短縮施行のアンケートとあわせて、依頼してあります。

ちなみに授業がわかりやすいと思う児童生徒の割合については、26年度については、小学生が73.1%、これを、31年度には85%に上げましょうという目標になっております。これは中間測定ということで、結果がちょっとどうなるかということですが、中学生は、26年度、50%です。それを目標、31年度に65%に上げましょうという目標を掲げております。

それから、学校に満足している保護者の割合なんですけれども、小学校は、61.1%満足しているのが26年度。それから75%に上げるという目標。それから中学校につきましては、38.1%が26年度の現状なんですけど、それを60%に上げましょうということで目標を掲げております。

こういう形で、まち・ひと・しごと総合戦略の中の数値目標を掲げていることについてのアンケートもあわせて実施したところでありまして、これもまた、出ましたら、委員さん方にはご報告をしたいと思っております。そういう形でアンケートを出しておりますので、お話ししておきたいと思っております。

それから次にもう1点なんですけれども、インフルエンザの現在の状況なんですけど、昨年、文間小学校の3年生がインフルエンザで学級閉鎖、また学年閉鎖しましたけれども、文間小学校の1年生、1年1組の児童がインフルエンザが増えてきてまして、今日から、学級閉鎖となります。インフルエンザの一番盛んな時期になってきましたので、それを学校側で未然に防ぐという意味で早目に対処していくということで、お知らせしておきます。

それからもう1点なんですけれども、来月の2月に教育委員会を行いますけれども、その後、総合教育会議を開催する予定です。これは前にもやりましたが、町長と教育委員との意見交換ですけれども、それを2月の委員会の後に実施する予定です。

内容につきましては、利根町の小中学校の学力向上についてを議題にしたいと思っておりますので、まだ資料等はできていないんですけれども、委員さん方におかれましては、学力向上について考え方を整理しておいていただければと思いますので、お話ししておき

ます。

私のほうから、以上3点です。

○教育長（杉山英彦君） 今、課長の方から、取り組み等について話が出ましたけれども、ご意見とかご質問ございますか。

○委員（村上盛一君） この夏休みの短縮の施行なんですけど、もし、来年度もやるということになった場合は、どんなような。来年度は今度4日間になるとか、そこはまた後で調整する形ですか。

○学校教育課長（寺田 寛君） やるかどうかも含めてこれは聞いているんですけども、本当は細かく聞こうかと思ったんですけど、余り細かく聞いていくと、ちょっと何かいろいろと考え方がまちまちになるかなという。何日間短縮とか項目も考えたんですけども、ちょっと感想を聞きたいということで行いまして、あくまで参考的にということ。

これを基にしまして、去年は試行でしたので、正式ではなかったんですね。来年度につきましては、一回夏休みを短縮しましたので、また戻すという選択肢はないのかなと。先ほど言いましたように、結局、学力向上とか授業時数の確保のためにやっているわけなので、そのためには進めていく方向かなと思っているんですけども。

それで、空調設備エアコンも入りましたし、環境も整ったということもありますし、そういうことも含めて来年度は、日数等はまだ考えてはいないんですけども、進めていきたいということ考えているんですけども。

ただ、短縮に当たっては、去年試行して、またもう一回試行というわけにもいかないのかなと思いついて、要するに規則を改正して、正式に夏休みをどうするかというのを決めた上で、こういうふうに進めていきますとしたほうがいいのかということ、正式な形で短縮という方向で、それは、こういう理由でこういうことですよと説明しながら、保護者等にはご理解を求めていければなと思っています。

その中で3日間にするか5日間にするか、7日間にするかというか、その辺につきましては、あと時期をどうするのか。夏休みの最後なのか初めなのかとか、ほかにもいろいろあるんですけども、春休みと冬休みとかというのもありますので、その辺を整理した上で委員さんにもご相談したいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

次の2月の委員会あたりでは、ちょっと話を出して、ある程度固めたいなとは思っています。

○委員（木村矩男君） いいアンケートが返ってくればいいけど。

○学校教育課長（寺田 寛君） これがまた逆に、余りよくない人が多くなると、後で厳しいんだけど、大体過半数以上は、よかったという意見のほうが多いかなと思いつているんですけど、これはちょっとわかりませんが。保護者にすると、お子さん方の学力向上とかあるいはそういう部分があるので、概ね良い方向に行くんではないかなと思うんですけど、子どもの目線とかにすると、夏休みを減らしては困ると、子どもに聞かれると「良くなかった」になるかと思うんです。子どもがここに書いてくるかどうかわからないんで

すけれども、ちょっと状況を見てまたお話をしたいと思えますけれども、そういう考えでおります。

○委員（佐藤忠信君） 私も保護者の立場として、周りの話を聞くと、最後の、今年度は3日間だったと思うんですが、月、火、水ということで、そこから始まりますよという意識を子どもに植えつけておかないと、追い込み型の子どもは「えっ、もう始まるんだっけ」なんて言って、早目早目に言わないといけないかななんて出ていたんですが。

○学校教育課長（寺田 寛君） 早目に方向性を決めて、こうしますよというのを打ち出ししていったほうが、保護者に対しましてもお子さんに対しましても、心構えといいますか対応の準備ですか、できますので、そういうふうにしていきたいと思えますので、3月までにはちょっとお知らせをしたいと思えます。

○委員（佐藤忠信君） そうですね。今年度もその後、台風で授業がつぶれたりしてましたので、あの3日間は貴重だったなという気はしていました。

○学校教育課長（寺田 寛君） インフルエンザによる学級閉鎖もありますし、実際に委員さん方はどういうふう感じていらっしゃるのかな、ちょっとご意見をいただけたら。

○委員（佐藤忠信君） 保護者の立場としては、やはり先ほど言われた学力向上と考えれば、多いほうが良いような気はしますね。

あとは、そのスイッチを入れる、今年度もその9月から行けない子、なかなか入れないということで、その3日間をアイドリング期間といいますけれども、そういう形で多分とられていたと思うんですね。それはよかったような気がしています。

○学校教育課長（寺田 寛君） 去年はたまたま月曜日が3日間の最初だったので、ちょっとキリがよかったですけれども、今年のカレンダーを見ると、8月28日が月曜日なので、そうすると、3日というと29日火曜日からになるので、ちょっと週の初めというわけではないんですけども、それについては議論の余地はあるのかなと思うんですけども。

○委員（佐藤忠信君） 再来年だとさらに5日間。

○学校教育課長（寺田 寛君） そうなんです。再来年は5日間になるので、火曜日・水曜日と、それもいいのかというふうには思うんですけども。3日間にするか5日間にするかとかそういうのはまた別にしまして、ちょっと曜日の関係がずれてくるので。昨年場合はたしか、月曜日が台風か何かで休校になったもので、実質2日間だったんです。

そういう事情もありましたので、それもあわせて、検討はしていきたいと思えます。

○委員（佐藤忠信君） あと夏休みの宿題は、何か、ポスターを描いたりとか昔あったと思いますが、今はもう自由選択になっているような形で、その分、ちょっと余裕があるのかなという気がしていますけれどもね。まあ大丈夫のような。あとはご家庭の予定が。いろいろな意見があると思えますが。

○学校教育課長（寺田 寛君） 夏休みの最後に家族旅行に行くなんていう方もあるでしょうし、縮減されると困るというものもあるかもしれないんですけども、それは、計画の作りようなので。

○委員（佐藤忠信君） 家族旅行も多分、最後の土日に合わせてくるので、週初めは。

○学校教育課長（寺田 寛君） そうですね。最後の31日までは旅行に行くというのは余り、少ないのかなとは思いますが、結果については、

そういうものも含めて、どういう結果になるかわからないんですが、結果については、またお知らせしていきます。

○委員（木村矩男君） ところで、今年は小学校の運動会はいつごろやる予定ですか。

○委員（佐藤忠信君） 前は工事の関係で5月だったと思うんですけども。

○学校教育課長（寺田 寛君） まだ決まっていないんですよ。

○指導室長（直井由貴君） 決まっていないですね。

今度、行事検討委員会が2月20日前後に入っていますので、校長会でもきっと話題にしつつ決めていくと思うので、まだ、最終決定ということにはなっていないです。

○委員（村上盛一君） 行事検討委員会でできた1年間の各学校の一覧表にしますよね。そういう一覧表をいただけるといいですね、4月に。

この学校で今、こういうことをやっているんだな、ああいうことをやっているんだな。ちょっとのぞいてみようかなとかとなるので。

何をどう、いつやっているのか全然わからないので、結局それぞれの学校のホームページを開いて、ああ、今、これやっているのか、あれやっているのかということになっちゃうので。せっかく行事検討委員会でそういうものを作成しているならば、差し支えない部分だけ、行事だけ入れていただいて。

○指導室長（直井由貴君） はい、わかりました。

○委員（村上盛一君） いただければありがたいですね。

○指導室長（直井由貴君） じゃ、それは年度当初に準備しましてご連絡したいと思います。

○委員（佐藤忠信君） 今の意見にかかわるんですが、そういう意味では、各学校のホームページの進み具合がまちまちで、やはり足並みをそろえたほうがいいような気がしておりますけれども、その特色を出す分にはいいとは思いますが、例えば今こういうことをしています的なものは出せると思うので、個人情報保護の範囲内でいいですね。あと、こういうことをやっているなというのは、わかると思ひまして。

○学校教育課長（寺田 寛君） 最近、ホームページの更新につきましては、結構先生方に頑張ってもらっていておまして、昨年度も随分多くなっています。閲覧者は、多いですよという報告を聞いておまして、大変先生方も頑張っていらっしゃるなどは思っているけれども、やはり地域に発信する。そこで発信するというのは非常に重要なことだと思うんですけども、今言ったように、ばらつきがあるのはある程度やむを得ないのかなと思うんですけども、なるべく皆さんが見やすいように、わかりやすいように、かつ見ていただけるように、なるべく多くの情報を更新していただけるようには働きかけをしていきたいと思っていますので、そういうふうに閲覧数は相当出ているそうです。

○委員（佐藤忠信君） この間、雪の日にちょっと県道を通ることがありまして、中学生が遅刻した感じで走ったりしているんですが、ヘルメットの色が今は白一緒くたになっていて何年生なのかちょっとわからなくて、ああいうのは、例えば委員会でシールなんかつくって張ってもらおうとかということではできないものですか。

○学校教育課長（寺田 寛君） 学年がわかるように。

○委員（佐藤忠信君） 必要性があるかどうかということもあると思うんですが。

○学校教育課長（寺田 寛君） 前は、ジャージなんかは色で分けて学年の違いがわかるみたいなのがありましたよね。

○委員（佐藤忠信君） そうですね。自転車は後ろのシールを見ればわかるんですけども。すれ違いざまにはなかなかそこまで見られないので。あれ、何年生だったんだ、というのが本当にいつも気になったりして。

あと、校外学習の指導でも、先生たちが学年がわかると、例えば2年生を受け持っている先生とかは、ちょっと余計気にして、おい、早くしろ、とか何とかなるんじゃないかなと思いつつ、いつも見ているんですが。前、色分けされていたときは結構わかりやすくてよかった。黄色と緑と青で、ヘルメットに反射テープが張ってありまして、今のは1年生だなとか。

○学校教育課長（寺田 寛君） 全面反射型になったので、多分それが当時と違ったのかなと思いますけれども。できるかとかはちょっとわからないですけども、一応考えてみたいと思います。

○教育長（杉山英彦君） まず、夏休みの短縮については、今年度、試行というような形で始めさせていただいたんですけども、大きな目標を持ってこれをやらせていただいているものなので、基本的には、先ほど課長の方から話があったように、授業時数の確保ということで、いろんな意味で休みが入ってきて、その部分を補うためにということはあるんですけども、利根町として、利根町独自の特色あるまちづくりの中の学力向上であったりとか、行事とか地域伝統文化の継承とか、そういう部分にかけるというか、大きな目標があってそれを達成するための短縮である。だから、3日間というような数字ですけども、その間をうまく利用して、先ほど佐藤委員さんが、おっしゃられたように、アイドリリングじゃないですけども、9月1日から、さあ始まるんだよというように始まるのと、その前に準備をして、もう進んでいるんだというようなことでは、やっぱり違うんですよ、動き方が。

それと、9月1日というのは一番、学校を休んだりとか、自殺とか、その辺が多い。その前から始まると、そういうプレッシャーというかストレスが少なくなったり、だから、不登校の解消にもなったりとか、行事にもスムーズに入れると。非常に先生方からのお話を聞いてみますと、2学期の活動が非常にスムーズに入れるようになったというようなお話も伺っております。

そういうことを含めて、授業時数の確保というのが大前提なんですけれども、大きな学

力向上とか行事の伝統とか不登校の解消とかそういうものを含めた、特色ある利根町の取り組みの目標に向けて、この3日間の短縮をしているんだということを大前提にしないと、他は全然やっていないのに、何で利根町だけやっているんだと、そういうふうな考えで見られちゃうかもしれませんけれども、利根町は利根町として確固たる目標、独自性を持った取り組みのために、これはやっているんだということを十分ご理解をいただいて、今後進めていきたいなと考えております。

ですから、アンケートの結果が多分、それなりに町の趣旨を十分理解していただいて、アンケートを合致させて、来年度に向けての取り組みをしていきたいなというふうには考えております。

あと、小学校の運動会の点についてなんですけれども、ここ2回ほど、前年度と今年度5月にやらせていただいたんですが、それぞれの小学校からは、9月よりもいいんじゃないかというようなご意見を伺っているんです。確かに新年度始まってすぐなので、なかなか忙しい。1年生なんかもなかなか学校生活になれない状況で集団行動をやらせたり大変なんだけれども、ただ、やってしまえば、結構スムーズにいく部分もあるし、1学期の行事の中としても大変忙しいんだけれども、やっぱり気候面的な部分、9月の暑さとかそういうものを考えると、5月とか6月上旬あたりのほうがいいんじゃないかというふうなご意見も伺っています。

まして、9月の先ほども言いましたように、いろいろな活動が、運動会でも9月が始まるのと、運動会がなくなった分だけ、学習面とかいろいろな取り組みに持っていけるという部分で、9月に何か今年は余裕を持って、夏休みが終わってバタバタしていて運動会で、とやっていると、なかなか9月いっぱいあたり、暑い暑いとやっていた実態は、学習に本気になって取り組めない。生活のリズムがなかなか取り戻せないとかそういうことを伺っていたんですが、ここ2年ほど、運動会を前に持ってきたために、結構2学期の活動がスムーズになってきているというようなことをお伺いしてはいます。

ですから、そういうことを考えて、あと、行事検討委員会とかありますので、来年度に向けてまたちょっと方向性が変わってくるかなと思うんですけれども、そういうふうな考えもあるということで、運動会はもしかすると5月ぐらいになるかもしれない。そういうのもありかなと思っています。

子どもたちの活動がいい方向に向かえば、行事は動かしてもいいのかなと思います。

○委員（佐藤忠信君） その中でちょっと一つ気になるのは、やはり5月となると、例えば1年生なんかはもう4月に入ってきて、いきなり5月に運動会とか。あとは先生も異動で、右も左もわからないうちに始まるというところで、ちょっとバタバタしないのかなというところと、あと、今まで運動会を見てきて9月の場合はやはり、そのほうにかかる時間も相当かけてきているということで、応援団長がやっぱり泣くんですね。あの情操的なところがすごく大事かなと思いますね。

あと、中学校の場合はやはり、今年度は9月にしてくれといったのは、6月に総体だ何だ

あって、なかなか 5 月はバタバタしていて難しいということで、やはり、またもとに戻したそうですが、そういったいろいろな側面があると思いますので、ぜひ検討してください。

○教育長（杉山英彦君） 本当に今おっしゃられたように、動かせばいろいろな弊害が出てくるし、いい面も出てくるんですね。学校活動がスムーズに行くような形で取り組みができればなど。

ただ、一つよかったのは、エアコンが入りまして非常に活動がしやすくなったという部分で、中学校の体育祭が暑い中で、2 週目の土曜日に行われたわけなんですけど、確かに外も暑いし、体育館の中も暑いんですが、教室に帰るとホッとします。今まで教室に帰っても暑くて、あー暑い暑い……と言って、汗も拭けないような状況で、授業が本当にだらけてしまった時だったんですが、ふっと教室に帰ってくると涼しくなったので、きちっとというか、静かに授業が聞けて、よかったですよというふうなお話を伺っています。

今までだと、暑い暑いとかやりながら、落ち着かない授業風景だったらしいんですが、ふっと教室に戻ると涼しくて、落ち着いて静かに授業を受けられるようになったという部分があって、2 学期の活動も非常に良く行ったというような話は聞きましたけれどもね。

行事関係については、また、いろいろ学校側の意見を取り入れながら進めさせていただければと思います。

この件についてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（杉山英彦君） 続いて、駅伝についてです。

○生涯学習課長（坂田重雄君） 来月の 19 日に第 32 回利根町駅伝大会を予定しております。昨年につきましては、中学校の工事の関係で中止になりましたけれども、今年は 2 年ぶりに開催ということで今、準備を進めております。2 年前の参加チームは 78 チームでしたが、今回 88 チームくらいエントリーがございまして、前回より盛大にできるということも考えております。

今現在、準備中として、職員とか体育協会の役員の方を含めまして、総勢 150 名から 180 名ぐらいスタッフとしてお願いする予定です。

以上です。

○教育長（杉山英彦君） 駅伝大会運営のほう、よろしくお願ひしたいと思います。2 月 19 日（日）、これは雨天でも決行ですけど。

○生涯学習課長（坂田重雄君） 雨天決行です。

○教育長（杉山英彦君） 雪の時は。

○生涯学習課長（坂田重雄君） 雪の場合は、4 年ぐらい前に一度ありましたね。雨は決行ですが、雪の場合は状況を見ながら判断して、危険な場合は中止ということもあり得ます。

○委員（木村矩男君） 道路状態でしょう。

○生涯学習課長（坂田重雄君） そうですね。

○委員（佐藤忠信君） 中止になった時に、結構いろいろなところから、あれはメインの

事業だったから、延期にならないのかとかいう意見がありましたね。

○生涯学習課長（坂田重雄君） なかなか日程が、調整難しい。

○委員（佐藤忠信君） 予備日とかも難しいですよ。わかりました。

○委員（木村矩男君） この間、女子駅伝もやっていましたね。

○教育長（杉山英彦君） なかなか 2 月のあの時期に大会がないので、近隣からも多く参加していただけるのはありがたいんですけども。

○委員（佐藤忠信君） それに向けて練習してきた町民の方もいるので、延期でできないんですかね、と言われたことがあるんですけども、それは道路の使用許可とかいろいろあると思いますので、ちょっと難しいと思うんです。

○教育長（杉山英彦君） 土曜にやって順延というのは、難しいんですか。

○生涯学習課長（坂田重雄君） できなくはないんですが、雨の場合はやりますので、どうしても雪の場合には中止の可能性があります。

雪の場合だと、順延しても次の日も余り状態が変わらない場合がありますので。

○委員（佐藤忠信君） 塩化カルシウムを撒いても、溶けきらない感じがします。

○生涯学習課長（坂田重雄君） 塩化カルシウムを撒きますけれども、雪は検討する必要があります。

○委員（佐藤忠信君） 転倒して怪我されても困るでしょうからね。

○委員（村上盛一君） 千葉県の方のそういう部活の学校がいつも優勝していますよね。

○生涯学習課長（坂田重雄君） 88 チームありまして、町外は 20～30 ぐらいですね。中学校が増えています。圧倒的に千葉県の方が、学校とかが賞をもらいます。

○委員（佐藤忠信君） 話は変わるんですが、文部科学省の方へ、1 月 13 日行かせていただきまして、すごく貴重な機会をいただきましてありがとうございました。

かなりこの施策を見ますと大分、今後大きな動きがありそうな、例えば、学習指導要領がまた改訂ということで、30 年から幼稚園で、32 年が小学校、33 年中学校ということで、かなりまた文科省もいろいろと施策を打ち出してきそうな動きがありますので、その対応が大変になるかもしれないですね。

特に新任教師の評価が低いということで、それをどうするのかということで、先月でしたか新任の教師の方がいきなり担任をしたりして、そこで心労で自殺してしまったという案件もあったりして、あと、アンケートをとった中では、校長先生の評価の 4 割が低いと、そういう能力が低いというケースが出ているらしくて、そういった問題があったり。

それから、今まで平成 27 年度から 37 年度の間の方々の先生の方々が、ちょうど大量採用時代だったらしくて、今度は大量に退職されるという問題が出ていまして、というところがあるそうで、そういった問題もいろいろ出てくるということで、教育行政がかなりいろいろと大変な時期に入るという話でした。

あと、学校の動きも教員の方の負担が大き過ぎるので、チームとして学校経営、マネジメントしていかなくちゃいけない時代になるんじゃないかと。当然、地域の方であったり、

教職員以外の専門のスタッフを入れて、そういう人がサポートする。あと、事務方の職員の方の仕事をもっといろいろ増やして、教職員の方が行っている事務的なものをそちらにしてもらって、要は先生がそういう指導の方に集中できるように、そういう仕組みができないかなという話も出たり、いろいろそういうところで大分教育関係のことが変わってくるということでした。

そういう意味で、社会教育法も改正して、今度社会教育の分野のところからも協力して、一体になって地域の人々が学校と連携・協力するということでもありましたので、議会で石山議員が言われたような地域支援型のああいうものももう一度発足するかもしれないような事でした。

前に、知り合いの方が審議官になられましたので、そのときに聞いた話が、また予算をつけるということで、また、地域本部みたいな形で、今度はもっと具体的に、学校の先生に負担のないような方向でしたいという話が出ていました。

あとは、教育委員についてかなり、講師の先生から意見が出ていまして、それも大津の委員の方が来られたんですが、あの事件を全国の委員の方々が、やはり人ごとのようにしか捉えていないと。あれは大津の問題だと思っている。それが結局、ほかにも事件が、未だにまだ起こっていると。この間も、今週ですか、松原市の中学生の女子が自殺してしまったという話で、これもいじめの子に対して仕返しをしたいということで亡くなったという話がありました。未だにこれがなくならないというのは、やはりもうちょっと意識を持ったほうがいいということ。

それから、委員もそういった事件等に対して、当然現場の人がよく把握しているのでわからないと思うんですが、極力そういった情報を教育委員会からもらって、現場と密着して、いろいろ判断してほしいという話でした。そういう意味では、委員も現場へもっとよく足を運んでくださいという話もあったんですが、利根のようなコンパクトなところは、それが可能だと思うんですが、やはり取手市とかもう少し大きいところだったら難しかったりはすると思うんですけども、極力、委員も意識を持って意見するという話でした。

もう一つは、首長というのは選挙によって、その権限を町民からもらって、権力者としているいろいろな行政を仕切ると。教育に関しては、そこから独立して我々委員がその権限を託されているので、あなた方は、委員会の中では権力者なんですよということをおっしゃって、そこまでなかなか意識を持つのは難しいとは思いますが、やはりそういった意識を持って、もっと教育に対していろいろな意見をしてほしいという話でした。

やはりどこの委員会も、なかなか大きいところになると、現場から上がったものを、はい、と言って承認するだけのことが多いということで、もっといろいろな提案をしてほしいという話でした。

そういう意味では去年はいろいろと意見を言わせてもらっていますので、あとはこういった議案、資料も前もって渡してくださいと。当日渡される委員会が結構多いらしくて、それでは判断できないですので、前もって出してくださいということも、利根はクリア

している。そういう意味では、いろいろ言われた意見の中では、利根町の委員会は、まあまあよく動いているほうなんだなというのを実感した研修会でした。

例えば今度のこの学習指導要領の改訂とかも、はっきり言って我々ではわからない。ただ、村上委員だけは学校の現場にいたから、そういった方はこういう得意の分野でそういう意見をどんどん出してほしいということでしたね。ほかの委員会では、どうしても偏っていて、改訂と言われても意見できないんですよという話が分科会の中で出ていたんですが、利根町は結構バランスが良いんだなと思います。

学校の現場がわかる方がいて、社会教育とか数字が得意な方がいて、県の方もわかるし、私も保護者の立場ということで、やはり利根町はバランスいいと考えています。

○教育長（杉山英彦君） 今、委員さんの話がありましたけれども、なかなかそれぞれの市町村の委員さん方も偏りがあるんですよ。

学校経験者が多かったりとか、保護者の方が2人ぐらいいるところもありますし、大体平均すると、委員さん、私を含めて5名ぐらいなんですけれどもね。その中でもやっぱりいろいろな多種多様な人選はされてはいますけれども、利根町は今おっしゃられたように、いろいろな分野の方を推薦させていただいていますので、いろいろなご意見を言っていただいて、教育委員会がさらに活性化するようにいろいろなご意見をいただけるとありがたいなというふうに思います。

また、2020年に学習指導要領が改訂になるわけなんですけれども、10年単位で動くんですよね。その前に、活動として30年に道德教育の教科化、それから英語が5・6年から、今やっているのが3・4年からに、そんな形で少しずつ学校現場もいろいろな環境が変わってきているのかなということで、そういうのをいち早く資料をお取り寄せして、皆さんで共有しながら、いろいろな活動が子どもたちをいい方向に向けられるように、話し合いができればありがたいなと考えていますね。

ほかに何かございますか。

その他、何かありましたら。……。

よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○教育長（杉山英彦君） それでは、次回の定例会については、2月28日、先ほども出ましたように、総合教育会議と併用していきたいと思いますので、午前9時からということで、28日（火）なんですけれども、ご都合よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○教育長（杉山英彦君） 午前11時から、総合教育会議を5-Aのほうで行いたいと思いますので、よろしくをお願いします。

○教育長（杉山英彦君） それでは、以上で、1月の教育委員会定例会、終了したいと思います。どうもありがとうございました。

午後 9 時 50 分閉会